

岡山県の地震

令和4年(2022年)11月

目次

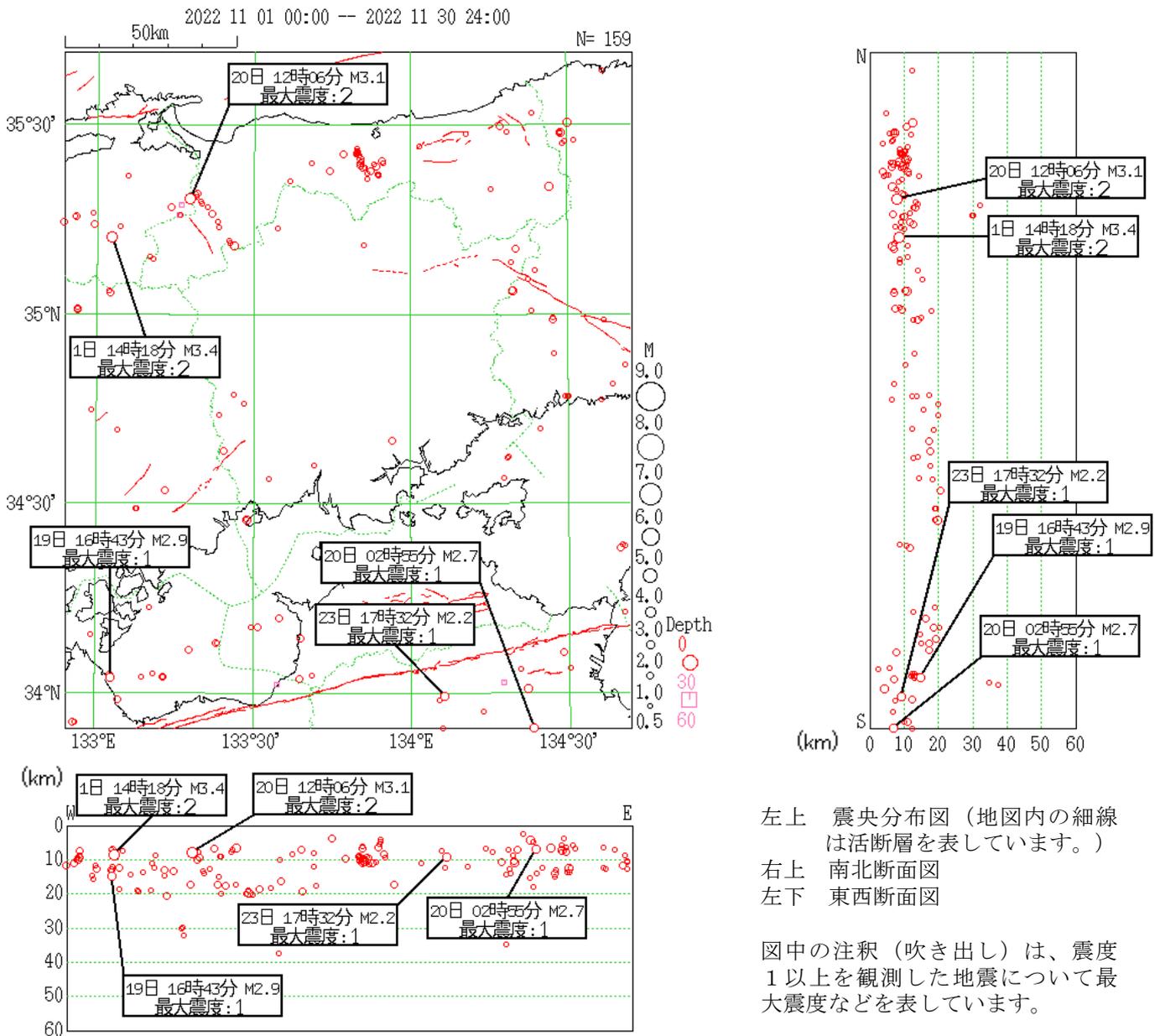
○岡山県及びその周辺の地震活動（11月）	
震央分布図及び断面図	… 1
概 況	… 1
岡山県において震度1以上を観測した地震の表	… 該当なし
岡山県において震度1以上を観測した地震の震度分布図	… 該当なし
○地震防災メモ No.203	
後発地震への注意を促す情報について	… 2

- 「岡山県の地震」は、月1回発行し、岡山県及びその周辺の地震活動をお知らせするとともに、適宜、社会的関心の高い地震について解説します。また、「地震防災メモ」により地震、津波に対する防災知識の普及等に努め、皆様のお役に立つことを目的としています。
- この資料の震源要素、震度データは、再調査されたあと修正されることがあります。
- 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。
また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

岡山地方気象台

岡山県及びその周辺の地震活動(11月)

震央分布図及び断面図



概況

11月の概況

- ・上図の範囲内に震源があり、11月に震度1以上の揺れが観測された地震は5回(前月:2回)でした。
- ・岡山県で震度1以上の揺れが観測された地震は11月中に0回(前月:2回)でした。

後発地震への注意を促す情報について

はじめに>

被害をもたらすような大規模地震が発生すると考えられている領域で、一定規模以上の地震が発生した時は、後発地震への注意を促し、防災対応の呼びかけを行うための情報を発表します。ひとつは「南海トラフ地震臨時情報」で、令和元年5月から運用を開始しています。もう一つは「北海道・三陸沖後発地震注意情報」で、本年12月16日12時から運用を開始します。

情報を活用する際の留意点について>

これらの情報を活用する際には、以下の点に留意して適切な対応をお願いします。

- ・大規模地震発生の可能性が平時より相対的に高まっていることをお知らせするものですが、必ず発生するとお知らせするものではありません。
- ・これらの情報を発表していない状況で、大規模地震が突発的に発生する可能性があります。(日頃からの備えが大切です。)
- ・これらの情報が発表されたら、日頃からの地震への備えなどを今一度確認してください。

2種類の情報の差異など>

運用開始が近い「北海道・三陸沖後発地震注意情報」では、既に運用している「南海トラフ地震臨時情報」と比べて、情報提供内容や受け取った際の対応について、以下のような違いがあります。

- ①異常な現象を観測し、臨時の評価検討会の開催をお知らせする「調査中」の情報を発信しない
- ②事前避難を伴う情報を発信しない

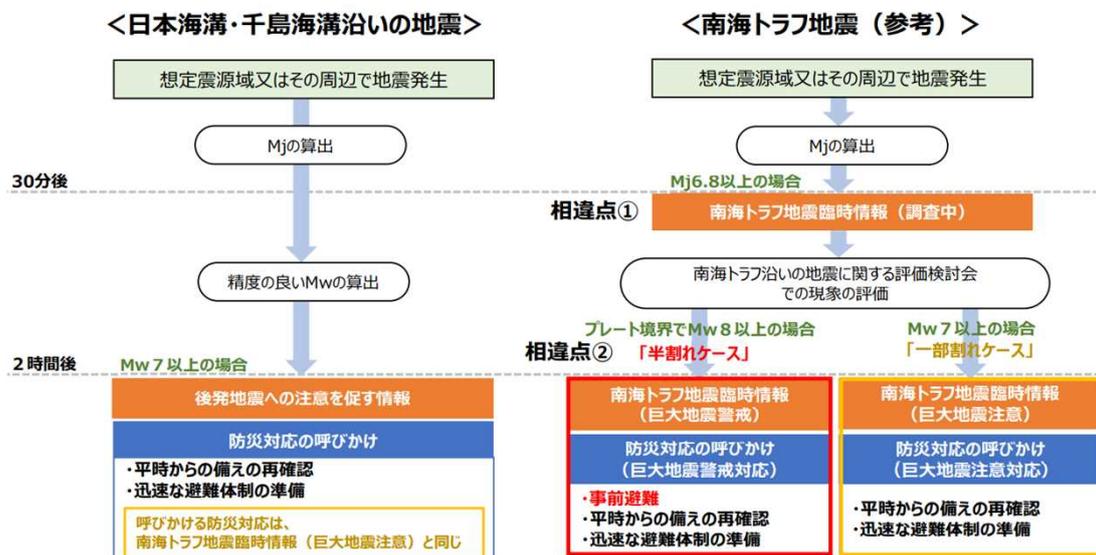


図 情報の流れや種類など

内閣府「北海道・三陸沖後発地震情報 防災対応ガイドライン」

https://www.bousai.go.jp/jishin/nihonkaiko_chishima/hokkaido/pdf/guideline_gaiyou.pdf

補足説明>

Mj : 気象庁マグニチュードを指す。速報性がある方式で、地震発生直後の地震情報等で用いられる。巨大地震の場合、Mjでは正確な規模を捉えることができないことがある。

Mw : モーメントマグニチュードを指す。地震を起こした断層の面積や岩盤のずれをもとに算出するもので、巨大地震の場合も有効だが、算出結果を得るまでに時間がかかる。

事前避難 : 南海トラフ地震臨時情報(巨大地震警戒)が発表された場合、後発地震が発生してからの避難では間に合わない住民に対して、事前避難を呼びかける(四国などに対象地域がある)。